

申 立 て の 趣 旨

申立人が、不在者甲野二郎の財産管理人として、別紙財産目録記載の不動産を、株式会社〇〇不動産に対して別紙売買契約書のとおり売却することを許可する旨の審判を求めます。

申 立 て の 理 由

- 1 申立人は、不在者甲野二郎の財産管理人です。
- 2 不在者甲野二郎は別紙財産目録記載の不動産を所有しているものの、他にめぼしい財産はなく、公租公課の支払に窮している状態です。また、当該不動産には、現在誰も住んでおらず、朽ち果てており、賃貸による収益を得ることも期待できません。
- 3 そこで、別紙財産目録記載の不動産を売却し、公租公課の負担を無くしたいと考えています。
- 4 よって、申立ての趣旨のとおり審判を求めます。

財 産 目 録 (土 地)

番号	所 在	地 番	地 目	地 積	備 考
1	〇〇市〇〇町〇丁目	<small>番</small> 〇 〇	宅地	<small>平方メートル</small> 150 50	

